

# 遊んで植物・川を理解

県環境員  
フォーラム  
宇陀で体験講座

夏休み最後の週末となった二十六日、県環境員フォーラムは宇陀市橋原区八瀬の「ひとびとの森」で、自然体験講座を開催。



夏休み最後の週末となった二十六日、県環境員フォーラムは宇陀市橋原区八瀬の「ひとびとの森」で、自然体験講座を開催。

この日は、人権にかかわる問題を中心に活動するNPO法人はつとねつが言霊通訳でも、自分の責任で自由に活動していく方法を

## 夏休み最後 自然 と ふれあい

理科教師から周辺の植物について説明を受けると、もたちも26日、宇陀市橋原区八瀬のひとびとの森

について考えてもらおうと、年に三、四回それぞれテーマを変えて開催している。

## 県農業の先端技術に驚き 橋原で農と科学の体験広場



白色系統のDNAのかたまりに驚く親子連れ26日、橋原市四条町の奈良県農業総合センター

農作物の研究や農業技術の普及活動を県民に知ってもらうため、奈良県農業総合センター主催の「農と科学の体験広場」が二十六日、橋原市四条町の同センターで開催され、親子連れに

の新技术や、カキ、イチゴなど県内特産物の紹介をはじめ、米栽培に科学体験してもらっている。体験、数

施設内にあるれんが造りの「なつた」。かまこてパンを焼いたり、アスレチックを楽しむなどの女子児童は「植物もいろいろ、自然と触れ合っ」て、自然と触れ合っ

し、ゴーグルで川の中を見ることができるとも楽しかったとうれしそうに話していた。

おどろく実験には、プロソコリーのDNA抽出に大勢が挑戦。すりつぶしたフロッコリーに抽出液を加えて処理すると白色系統のDNAのかたまりが出現。三宅町の小学校四年山下藤子さんと母親のあやまさん(右)は「実験に目で見られるなんて信じられない」と驚きの声を上げていた。

## 国民・県民の信頼を

### 230人参加し近畿建築士会

近畿六府県の建築士が一宮に集い、建築、技術の研究などを進めていく社会実地協会の向上を図る。第二十七回近畿建築士会が二十六日、奈良市春日野町の県新公会堂で、約二百三十人が参加した。



村田を見守るシャノン



**ニュース川柳**

今年初の奈良市北野町  
杉野 陸朗編

サッカードイツの来客オシロイ  
竹村 昇  
北斗 隆  
17日 18日

きょう 10%  
あす 30%

天

交通事故 県警25日	
件数	24
本年累計	5093 (-296)
死者	0
本年累計	42 (-5)
傷者	26
本年累計	5897 (-378)

( )内は前年比増減数

# 「アースデイ」地球環境考えて

## 県内各地で啓発イベント

世界中で地球環境を考える「アースデイ」の二十二日、県内各地で啓発イベントや清掃活動が開催された。アースデイは、環境汚染などが進む地球を見つめ直そうと昭和四十五年にアメリカで始まり、世界に広がった市民運動。約百八十五の国や地域で統一行動が行われている。

## 奈良公園で発電体験

### 参加団体の活動紹介も

奈良市登大路町の奈良公園登大路園地では「アースデイ奈良2007」（奈良新聞社など後援）が開催され、音楽や劇を通して環境や平和の大切さを訴えるグループのステージイベントや、フェアトレード商品やエコグッズなどの販売が行われた。また同市登大路町の県文化会館多目的室で参加団体の活動を紹介する展

暖化の会など地球環境や平和、人権などを考える県内の九つの団体・グループで構成する実行委員会が主催。平成十六年から平城宮跡で始め、ことし初めて奈良公園で開催した。奈良ストップ温暖化の会は、自転車発電、風力発電の体験コーナーを設置。参加者は自転車をこいで二十ワットの電球点灯にチャレンジし、隣では小さなプロペラをつわいで回転させ、風力発電によるLEDランブ点灯を体験。木津川市から訪れた小学四年北沢秋華さんは「風で発電する体験は初めて。すごいなあと思った」と話していた。実行委員長の田北ますみ・奈良カイア村代表は「アースデイという言葉をもっと広め、盛大なイベントに発展させたい。地球のことを考えずに人類は存在できない。毎日がアースデイになることがわたしたちの目的。今さえ良ければではなく、みなが互いのことを考えられる社会に」と話していた。

桜井で焼酎作り  
二十一日  
ろ、桜井市  
建ての醸料  
東直さん  
居間と台所  
一部と台所  
焼いたが、  
により消し  
の火事で、  
ら腹部にか  
い、同市の  
送された。  
桜井署の  
パートは二  
れ四室つ  
は一階西端  
社会福祉法  
人会  
川  
中

## 原 平和と保全、歌に込め

### 30団体参加、物品販売も

世界的な市民運動で、地球のことを考える日「アースデイ」に合わせ、「アースデイならSouth（サウス）」（実行委員長・伊藤満弘NPOほっとねっと代表）が二十二日、橿原市北八木町の県立橿原文化会館前広場で行われた。中南和地域での開催は今年で二回目。橿原、桜井、大和高田各市を中心に、環境保護や人権、教育などに

取り組む団体やアマチュアバンドの約三十団体が参加。活動内容を紹介する展示や物品販売、音楽などを通して、地球のことを考える人々が交流、一般市民にもアピールした。流水アーツや地球への手紙を書くコーナーもあった。産業廃棄物問題から始まり、菜の花プロジェクトも展開している桜井市の市民団体「桜井市の環境をまもる会」は、会員が作った農作物などを販売しながら活動を紹介。会員の岡松洋さん（みま）は「多くの人に問題を知ってもらい、世論を高めて市民の監視の目を強くし

奈良市中  
社法人中川  
事長）が昨  
を進めてい  
護施設「フ  
ながかわ」  
害者通所備  
なかかわ」  
員の奥野信  
藤原昭泰自  
社の甘利始  
来賓が出席  
開所式が行  
中川会  
「障害があ  
たわが子



自転車発電に挑戦する参加者。22日、奈良市登大路町の奈良公園登大路園地



アースデイのイベントに参加して歌声を響かせる女性コーラスグループ。22日、橿原市北八木町

# おんぎのりづくりで 児童らと親ぼく

杏中サマーフェス

07.8.27

差別のない社会の実現を  
目指し、地域の交流の輪を  
さらに広げようと、「第十  
回杏(からもも)中アフリ  
コットファミリーサマー  
フェスティバル」(奈良市杏  
人権文化センター、部落解  
放同盟杏中支部主催)が二  
十六日、同市杏町のセンタ  
ーなどで開かれた。辰市小



懸命に昼食のおにぎりをつくる参  
加者ら=26日、奈良市杏町の市杏  
人権文化センター

学校の児童とその保護者ら  
が調理や野外活動を通し、  
親ぼくを深めた。きょう二  
十七日まで。  
児童はまず四班に分か  
れ、昼食のおにぎりづく  
り、昼食のおにぎりづく  
り開始。慣れない手つきな  
がら、保護者らの助けを  
得て梅干しやこんぶを乗せ  
たご飯を次々にぎった。  
続いて、バスで宇陀市榛  
原区八滝のひーとびーとの  
森へ。班で助けあいながら、  
丸太のいすを組み立てた  
り、泥かき取りを楽しんだ。  
センターの山本利一所長  
は「夕食のバーベキューや  
カレーづくりやお楽しみ会  
もまた控えている。仲間同  
士助け合って、最後までや  
り遂げてほしい」と話して  
いた。

奈良の社長さん

理想建築工舎CRAFT  
堤 美樹 代表(42)



「依頼主の満足度を高めるため打ち合わせは何度でもします」と話す堤代表

「もう自分で仕事を  
するしかないやんか」  
ウエスタン風のい  
でたちで、キャンピ  
ングカーを走らせる。  
個性的なのは家だけ  
ではない。「依頼主  
との打ち合わせは20  
回」にも及ぶ。建築  
途中での仕様変更も  
たびたび。完成後は  
依頼主と一緒になっ  
て感激を味わう。

木の根を見つけて  
きて一みんなで磨い  
てくまきい  
と依頼主  
に言うこ  
ともある。

# 自然素材ふんだんに

「家はデザイナー  
の作品では  
ありません。  
依頼主が生  
活を営む場  
ですから、満足度を  
高めることを常に考  
えています」と話す  
堤代表。

木や木の根、荒土な  
ど自然素材をふんだ  
んに使う。依頼主の  
満足と住み心地を優  
先した結果、既成概  
念にとらわれない家  
が次々と完成する。

インスタントと言わ  
れる住宅を嫌う若い  
世代のハートをつか  
み、注文数を伸ばし  
ている。  
10年前に脱サラ。  
その理由が面白い。

利益を優先するハウ  
スメーカーの営業姿  
勢が嫌になって、転  
職を決意。就職活動  
中、面接担当者と澄  
見の食い違いで喧嘩  
(けんか)になった。  
だ。

伊藤 満 様

奈良

太平洋戦争開戦の日の8日、奈良市右京1の市北部会館で「非核平和の集い」があった。沖繩在住で平和活動を続ける手工芸作家、内村千尋さん(62)が「沖繩の戦後史と今」と題して講演し、約1000人の市民が平和を求める声に聴き入った。

県内で反核運動を進める「非核の政府を求める奈良の会」(代表、中塚明・奈良女子大名誉教授)が主催した。内村さんは、沖繩返還前の那覇市長や衆院議員を務めた瀬長亀次郎さん(1907~2001)の次女。講演で内村さんは、太平洋戦争中の集団自決を巡る文部科学省の教科書検定意見撤回を求めるため、今年9月に沖繩県宜野湾市であった、同県民大会について説明。旧日本軍の強制などの表現が削除された教科書検定について、「申しか所があることのできない、手りゅう弾が集団自殺に使われているのに、どうして軍の関与を否定できるのか」と批判。県民集会



沖繩県民集会を報じる沖繩の地元紙を示しながら、平和の大切さを訴える内村千尋さん

奈良の文化を知ろう

外国人、書道習う

基本作法など楽しく

については「沖繩戦では4人に1人の住民が犠牲になり、県民のほとんどは戦争で亡くなった人たちの「遺族」。死者を冒とくするような行為に對

奈良

奈良を訪れる外国人と共に奈良の文化について知るイベント「外国人と書道習おう」が8日、奈良市高御門町のカフェ「由庵」であった。

「なら・シルクロード博記念国際交流財団」の助成事業で、引きこもりの若者の支援するNPO法人「ほっとねっと」(伊藤満理理事長)が主催した。講師は建築設計事



講師の木原静光さん(左)から筆の使い方など書道の基本を習うジュリー・コーゲンさん(左から2人目)

務所でデザイナーを務める書道歴24年の木原静光さん(71)大阪府東淀川区。参加者は木原さんから墨をする方法や筆の握り方など基本的な作法のほか、文字の抑揚の付け方など作品作りのコツまでを習っていた。

来日5年の米国人、ジュリー・コーゲンさん(31)奈良市は「書道に興味があったけれど、今まで機会がなかった。今度は友人を誘ってあげたい」と楽しんでいる様子

110番 119番

広陵町で死亡事故

8日午前0時46分ごろ、広陵町弁財天の県道で、愛知県岡崎市明大寺町馬場東、会社員、岡野清彥容疑者(34)運転の普通乗用車が、近くに住む無職、柳田熊蔵さん(89)をはねた。柳田さんは出血性ショックで約50分後に死亡した。高田署は岡野容疑者を自動車運転過失傷害容疑で現行犯逮捕、同致

【黒岩播光】

和」を改めて考えさせられる良い機会になった」と話していた。

た杉直登(約80歳)と長女(約12歳)の下敷きになった。寺口さんは約2時間半後、搬送先の病院で死亡が確認された。中吉野署の調べでは、現場は急な斜面。倒れそうになった伐採木から離れる途中、別の伐採木が寺口さんの上に倒れてきたという。



感謝を込めて豆腐に針を刺す大原和服専門学園の生徒ら

縫い針供養し 技術上達祈る

奈良

裁縫に使って折れた針などを豆腐に刺して供養する「針供養」が8日、奈良市富雄元町の大原和服専門学園奈良本校(大原敏敬理事長)であった。着物の生徒ら約180人が、縫い針への感謝の

心とともに、技術の上達を祈った。針供養は中国では唐の時代以前からあったとい

い、日本では江戸時代以降に広まったとされる。同日は、針供養のため敷地内に95年に建立された「針塚」前に、花で飾られた大きな豆腐(縦20センチ、横35センチ)が二つ並べ

られた。神官が祝詞を奏上した後、生徒らは一人ずつ針を刺し、手を合わせていた。和裁総合研究所4年の當眞由衣さん(21)は「来春、和裁の全国大会出場を控えています。活躍できるようにお祈りしました」と笑顔だった。【花澤茂人】

街角ファイル 10日(月) 眞宗講座 午後2~4時、大和郡山

おいしいゆのち 中 市高田町の善正寺。高松寺(神戸市)の谷川弘頭住職が「無常を生きる」と題し講話。善正寺(0743-52-6075)。

支局長

世界を垣間見ました。一番けったいだったん

た苦い経験がありました。その時の教科書会社

Table with 2 columns: Date/Time and Location/Event. Includes dates like 12月11日 and 12月12日, and locations like 大和郡山 and 大和郡山.